

「競争的研究費においてプロジェクトの実施のために雇用される若手研究者の自発的な研究活動等に関する実施方針」に関する戦略的創造研究推進事業（CREST、さきがけ、ACCEL、ACT-X）の対応について

2020年4月14日
戦略研究推進部

1. 背景

若手研究者に対する専従緩和に関する検討が平成31年当初より内閣府、文科省でなされてきた。この度、令和2年2月12日付の競争的研究費に関する関係府省連絡会申し合わせにより「競争的研究費においてプロジェクトの実施のために雇用される若手研究者の自発的な研究活動等に関する実施方針」が決定された。これに基づき、JSTでは「JST 競争的研究費により雇用される若手研究者の自発的な研究活動等の実施について」（以下「JST 実施方針」という）が経営企画部により取りまとめられ、令和2年度4月14日に公開された。このJST 実施方針に基づいて戦略的創造研究推進事業（CREST、さきがけ、ACCEL、ACT-X）での実施方針を以下のとおり定める。

※参考資料

別紙1) 競争的研究費に関する関係府省連絡会申し合わせ（令和2年2月12日付）

URL: <https://www8.cao.go.jp/cstp/compefund/jisshishishin.pdf>

別紙2) プロジェクトの実施のために雇用される若手研究者の自発的な研究活動等について（令和2年4月14日付）

URL: <https://www.jst.go.jp/osirase/2020/pdf/20200414.pdf>

2. 戦略的創造研究推進事業（CREST、さきがけ、ACCEL、ACT-X）における実施方針

「JST 実施方針」を踏まえて以下のとおりとする。

（1）対象事業について

- CREST、ACCEL
- さきがけ専任研究者

（対象外）

- さきがけ（さきがけ専任研究者を除く）
- ACT-X

（2）対象者

原則として以下の全てを満たす者とする。

- ① 委託研究契約書において「大学等」と認められた研究機関において、JST 競争的研究費事業によるプロジェクトの実施のために雇用される者（ただし、プロジェクトの研究代表者等が自らの人件費をプロジェクトから支出し雇用される場合を除く）
- ② 40歳未満の者
 - ・活動等を開始する年度の4月1日時点で40歳未満の者を対象とします。

ただし、複数年事業への採択などにより 1 つの活動等が年度をまたがる場合、活動等の実施期間中に 40 歳になる場合であっても、「自発的な研究活動等の実施期間」、または、「雇用されているプロジェクトの実施期間」のうち、先に終了する方の期間中は、本制度の利用を可能とします。

③ 研究活動を行うことを職務に含む者

なお、複数のプロジェクトで雇用される研究者についても、それぞれのエフォートの 20% を上限として活動を認める。

さきがけ専任研究者については別途「(7) さきがけ専任者について」で定める。

(3) 実施条件

「JST 実施方針」に定める条件どおり、次の全ての条件を満たすこととする。

- ① 若手研究者本人が自発的な研究活動等の実施を希望すること
- ② 研究代表者等が当該プロジェクトの推進に資する自発的な研究活動等であると判断し、所属研究機関が認めること
- ③ 研究代表者等が当該プロジェクトの推進に支障がない範囲であると判断し、所属研究機関が認めること（当該プロジェクトに従事するエフォートの 20% を上限とする）

(4) 従事できる業務内容

「JST 実施方針」に定める内容どおり、上記 (3) の全ての実施条件を満たす自発的な研究活動等とする。

(5) 研究機関における具体的な実施方法

「若手研究者の募集」、「申請方法」、「活動報告」及び「活動の支援、承認取消」等の各研究機関における具体的な実施方法については、「JST 実施方針」を踏まえ、各研究機関の実情等に応じて、各研究機関においてあらかじめ規程等を定めた上で実施するものとする。各研究機関における手続等を定めるに当たっては、研究者等の負担にも留意しつつ、雇用元の研究遂行に支障がないよう、また、若手研究者の自発的な研究活動等が円滑に実施されるよう、適切なエフォート管理等を行うこと。また、申請内容や活動報告内容等については、各研究機関において適切に保管すること。

(6) JST への報告について

本制度を利用して若手研究者が自発的な研究活動等を行う場合は、研究計画書の記載要領に従い、様式 C「参加者一覧」にその旨が分かるよう記載する。

ただし、R2 年度既存課題については経過措置として R3 年度の研究計画書より記載をする。

R2 年度新規課題については R2 年度の研究計画書より記載をする。

(7) さきがけ専任者について

「JST 実施方針」ではプロジェクトの研究代表者は対象外としている。一方、さきがけ専任者に対してはこれまで科研費研究や教育的業務等への従事を一定の条件の下で承認してきた。この運用を

以下のとおり一部見直し、さきがけ専任者についても JST 全体方針に準拠し自発的な研究活動等の実施を認める。

① 対象業務

対象業務はこれまで科研費研究の従事、戦略的創造研究推進事業の兼務、教育的業務に限っていたが JST 実施方針に準拠し、(4)の条件を満たすものを対象とする。

② 従事できるエフォートについて

エフォート 20%を上限に自発的な研究活動等の実施を認める。

③ 移行の猶予

見直し前の条件でさきがけ研究以外の活動が認められているさきがけ専任研究者については、これを継続することは妨げない。

④ 申請・実施方法

別途定める方法にて実施

(8) 実施開始時期

① 既存課題

令和 2 年度 4 月から導入

② 新規課題

令和 2 年度募集から導入

以上